



東北大学

参加
無料

SEMSaTショートコース

11月17日(木)

15:00～18:00(開場14:30)

会場:東北大学東京分室

主催:東北大学大学院環境科学研究科

社会変革を伴う新しい経営視点とは？

—ライフスタイルを基盤とした価値創造の可能性—

地球環境問題が深刻化していることに加えて、東日本大震災の発生により、企業活動や行政活動を取り巻く環境や社会の制約条件が大きく変化しています。この変化の基本理解を踏まえて、変化を先取りする、積極的な計画や行動が求められています。

東北大学大学院環境科学研究科では、その豊富な環境科学・環境技術の歴史とノウハウを活かし、世界屈指の講師陣を招聘する「高度環境政策・技術マネジメント人材ユニット(SEMSaT)」を2005年に開講し、2010年4月より「環境政策技術マネジメントコース」として、再スタートを切りました。環境政策、環境技術、環境経営等の高度な環境マネジメント技術を、バックキャストिंग的思考を用いて、企業の将来展望や企業経営、社会に活かしていくことの出来る人材を養成する、今までの大学院にはない、実践的な講義内容を実現しています。この画期的なカリキュラムの一部を、今回は特別に参加者の方々に体験していただきたいと考えております。持続可能性の問題に自ら主体的に取り組みたい方、環境経営の新しい可能性を模索している方など、是非この機会をご活用ください。

東日本大震災で我々は進歩を続けていると信じていた文化や文明の脆さをまざまざと見せつけられました。しかし、その中で、日本人の心が創りだした、キラキラ輝く様々な記憶の結晶が今なお息づいていることも改めて知ることが出来ました。今回の震災で、社会を取り巻く環境制約が厳しくなりましたが、近い将来、今以上に厳しい環境制約が課せられることも想像に難くありません。今こそ我々が持っている記憶の結晶に注目し、新しいライフスタイルへのパラダイムシフトが必要となります。東日本大震災を越える術が、まさに地球環境問題と正対することなのです。新しいテクノロジーとライフスタイルのパラダイムシフト創出に向けて、SEMSaTの教育の一端を今回参加される皆様に体験していただければ幸いです。



東北大学大学院環境科学研究科
教授
石田 秀輝

申込方法などについては次頁をご覧ください。

